

授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
小林 量 作、安 達 千佳子 細 野 敦 子		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 1. ADLについての基本的な知識を習得している。 2. 実習で接する代表的な疾患のADLについて学習している。 3. 問題点に対する目標設定、プログラム立案ができています。 4. 学生のグループ発表で学んでいる。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 概念について理解している。 2. 評価について理解し、各種評価方法の特徴について理解している。 3. 起居・移動動作、身の回り動作指導について理解している。 4. 各種疾患のADLについて理解している。 5. 問題点を抽出し、プログラムを立案できている。 6. 福祉用具についての理解している。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	概念、範囲、分類	1	小林		
2	ADL評価（総論）	236	小林		
3	ADL評価（各種方法 1）	236	小林		
4	ADL評価（各種方法 2）	236	小林		
5	起居・移動動作 1（学生発表）	236	小林		
6	起居・移動動作 2（学生発表）	236	小林		
7	身の回り動作 1（学生発表）	236	小林		
8	身の回り動作 2（学生発表）	236	小林		
9	身の回り動作 3（学生発表）	236	小林		
10	身の回り動作 4（学生発表）	236	小林		
11	身の回り動作 5（学生発表）	236	小林		
12	下肢関節疾患のADL	45	細野		
13	下肢関節疾患のADL	45	細野		
14	片麻痺のADL	45	安達		
15	片麻痺のADL	45	安達		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正 編	医学書院	2005
		日常生活活動（動作）－評価と訓練の実際－ 日常生活活動（ADL）	土田弘吉 編 他 橋本 隆 編 他	医歯薬出版 神陵文庫	1992 1998
その他の資料		資料配付			
【評価方法】 出席、レポート、小テスト、期末試験		【履修上の留意点】 教科書の予習を必ず行う			